

発行所 篠山鳳鳴同窓会

兵庫県丹波篠山市大熊369

兵庫県立篠山鳳鳴高等学校内

TEL(079)554-2533

発行責任者 中西 薫



第111回鳳鳴祭 文化祭の部 (令和4年度開催)
書道部パフォーマンス「君に届け」



母校の発展こそ同窓会の願い

篠山鳳鳴同窓会長

中西 薫 (高30回)

篠山鳳鳴同窓会々員の皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍の事と存じ、心よりお喜び申し上げます。また、平素より同窓会の活動に対し深いご理解とご協力を賜り、御礼を申し上げます。

コロナ禍により大変な3年間ではありましたが、昨秋には同窓会「阪神支部総会」が再開され、さらにこの秋からは「洛鳳会」や「関東支部のつどい」、そして全体での「鳳鳴のつどい」も開かせていただくことが決定し、喜ばしいことです。またすべての取り組みや行事につきまして、5月の常任理事会、代議員会より通例どおりへと戻させていただいております。

さて、本年2月には本校第75回生が卒業式を迎えられ、私も臨席いたしました。卒業生代表による答辞には、入学式も開かれないう常ならぬ状況から学生生活が始まったこと、困難な中にも少しずつ努力し切り拓いていき、友人と共に喜びを分かち合えたことなどが綴られており、強く心に刻まれました。最後の校歌斉唱も、全員で声を揃えて歌うのは卒業式が初めてという中、力強い声が体育館内にこだまし、参列者一同、感動の思いに包まれました。

4月、第78回生を迎える入学式に臨席いたし、祝辞を述べさせていただきました。その中で、本校は県内屈指の伝統校であるが、その伝統には常に新しいものが加わっていかねばならないことをお話しし、入学生には「本校に新風を吹き込んでほしい……」、そして、「その新風が伝統に加わったとき、学校を動かすエネルギーになる」と強調しました。マスク着用が個人の判断に委ねられた中での入学式。新入生の表情には希望があふれ、笑みが感じられ、本当に幸せな思いがいたしました。

その第78回生が卒業する、まさに3年後、本校は創立150周年を迎えることとなります。まだ3年先とはいえ記念すべき節目でありますので、本年秋より準備会を立ち上げ、機運を盛り上げていきたいと思っております。同窓会の皆様には、どうか様々なアイデア、ご意見をお寄せいただきますようお願いいたします。篠山鳳鳴の積み重ねてきた校風は決して色褪せることはありません。母校の発展こそが同窓会の願いです。言い換えれば、母校の発展なくして同窓会の発展はないと思っております。

現在、同窓会長として、PTA会長と共に学校評議員としての役をいただき、委員会に出席しております。学校長をはじめ現場の先生方が新しい教育方法を導入されるなど、例年にも増し手厚いご努力を重ねられていることをその席上で知ることができ、嬉しく感じております。母校に対しての支援事業は、PTA保護者の皆様にも意見をいただきながら、積極的に進めてまいりたいと思っておりますので、皆様には、絶大なるご協力をお願い申し上げます。

ご挨拶

篠山鳳鳴高等学校長

樋口 一哉 (高36回)



篠山鳳鳴同窓会のみなさまには、本校の教育活動の推進にご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

篠山鳳鳴高等学校長2年目を迎えました樋口一哉です。青山忠誠(ただしげ)公の志のもと、篠山中年学舎が設けられた明治9年から今年で147年目となります。常に伝統と改革を意識しながら務めてまいります。

さて先日、4年ぶりに全国高等学校長会が東京・埼玉方面で開催され、出席してきました。文部科学省からの行政説明や全国各地の新しい取組みをされている学校の発表などがあり、校長会の総会も同時に行われるものです。今回の関東方面への出張は、私には他に2つの目的がありました。一つは、「尚志館」に訪問すること。もう一つは、秋田県立大館鳳鳴高等学校の校長先生にお会いすることでした。尚志館は、ご存じのように旧篠山藩主直系青山忠誠公が東京赤坂の私邸にて、丹波篠山の子弟を1875年に招致したのが始まりです。2016年に新築されており、近代的な4階建ての建物でした。共同生活を通じて様々な個性を持つ仲間と向き合うことで人間性の成長と幅広い価値観を身につけられ、東京という大都会で頑張ろうとする丹波篠山の子どものために非常にありがたい施設であると感じました。また、校長会が始まる前に大館鳳鳴高校の渡邊校長先生と約束をし、初めて対面でお話をさせていただきました。秋田県と兵庫県ですから、頻繁に交流をすることは限られてしまいますが、今後の両校の発展のために継続的に情報交換や生徒会、野球部の交流を約束しました。

このような中、3月末に新聞等でも発表されましたが、普通科コース(総合科学コース)の改編が求められる中、本校は令和6年度より「STEAM探究科」という普通科単位制へ改編することに決まりました。これは、兵庫県が独自に設置する学科で、県内に4校設置されます。最先端科学技術分野における民間企業等とのコンソーシアムを構築し、STEAMに関する知識・技能を活用しながら、新たな課題を発見する探究活動を展開していきます。Science, Technology, Engineering, Arts, Mathematicsの頭文字からなるこの学科は、グローバル化の進展やSociety 5.0の到来等、変化の激しいこれからの時代に対応できる新たな価値を創造する人材を育成することにつながると期待されています。

「いにしへの先ゆく人の跡見れば 踏みゆく道は 紅に染む」明治末期から昭和初期にかけて活躍した教育者、新渡戸稲造の言葉です。いつの時代においても、どのような組織においても、先人の苦勞というものは想像以上に大きいものです。その先人たちの苦勞の上に今回の高校改革はあると感じています。そして、本校のような伝統校だからこそ同窓生の協力が何よりも心強いです。新しい時代に向けて、生徒たちの高校生活が有意義なものとなりますよう、教育活動に取り組んでいきます。

篠山鳳鳴同窓会のみなさまにおかれましては、今後とも本校教育へのご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

洛鳳会

洛鳳会の活動報告

代表幹事
松浦昌宏(高30回)

洛鳳会は、京都や滋賀にお仕事やお住いの拠点を持たれている方々の支部会です。現在は、西垣吉春さん(高17回)を会長として活動が続けています。私自身(高30回)は2020年から代表幹事を拝命しております。

どの支部も同じだと思いますが、約3年に及ぶ新型コロナウイルス禍により、思うような活動ができませんでした。それ以前は新年会、納涼会、総会等で会員の皆様が一堂に会して旧交を温め合う活動ができていたと思います。

最近になって落ち着いてきたこともあり、ようやく久しぶりに新年会を京都・平安神宮近くの六盛さんで開催することができました(写真)。私からすると20年以上も先輩の方々や後輩の方々もお元氣な姿を見せていただき、親睦を深めました。あまりに盛



り上がったこともあり、当然のように二次会にも多数参加していただき、皆さん笑顔で溢れていました。お世話させていただいた側も大変うれしい限りです。

今後、マスク着用も本人判断になり、5月からは感染症法上の5類に緩和されることとなりますので、益々活動の幅が広がり、活発にできると思います。是非、若い世代の方のご参加をお待ちしております。

洛鳳会総会(創設68周年・第22回)

以下の通り、開催いたしますので、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時: **2023年9月9日(土)**

11時30分～15時30分(受付開始11時)

場所: **東華菜館**

〒600-8012 京都市下京区四条大橋西詰

電話: 075-221-1147

<https://www.tohkasaikan.com/main/shopinfo.html>

(近くに漢字ミュージアムや南座などがあります。)

スケジュール:

11時30分～ 洛鳳会総会

12時～ 講演

講師: 京都大学大学院 人間・環境学研究科
教授 細見 和之氏(高32回)

演題: 生きる糧となる言葉をもとめて
—大阪文学学校校長として—

12時30分～ 懇親会

問合先: 洛鳳会・代表幹事 松浦昌宏

電話: 090-8756-4630

メール: m-mtsr18@jcom.zaq.ne.jp

阪神支部

阪神支部大会 4年ぶりに開催!!

支部長
永井哲郎(高19回)

令和4年10月2日(日)、第22回阪神支部大会を盛大に開催しました。6月開催予定を、4か月ずらしました。コロナ感染者数は減少傾向ではありましたが、感染リスクを背負っての強硬開催でしたが、ふたを開けてみれば114名もの方々にご出席いただきました。

「勇気ある開催の判断」そして参加者は「勇気をもってご出席」いただきました。来賓の中西同窓会長、酒井丹波篠山市長、樋口校長より祝辞を頂きました。中西会長は創立150周年に向けての意気込みを語られ、酒井市長は城下町観光の活況ぶりや移住者が増えていることなどを報告されました。また、樋口校長からは学校の現状や学校の指導方針についての説明がありました。

総会は、松木洋子副支部長の閉会の言葉で終了しました。特別講演会は、映画監督で、洛鳳会会長の西垣吉春(17回生)さんより「森の学校」の制作秘話をスライドを見ながらユーモアを交えてお話いただきました。

後半は感染防止対策を徹底しながら、終始和やかな懇親会となりました。

小西兵庫県議会議長(当時)や小島篠山市議会議長の挨拶もあり、司会進行役の副支部長の大西淳仁(37回生)さんによる、初参加の大学生4名へのインタビューでは、神戸大学の学生は「将来は数学の先生

になって、母校の教壇にも立ちたい」との答えに、会場内は「ウオーッ」とのどよめきが起こりました。

出席者の中で最高齢、105歳の鷲尾泰子(高女20)さんからは、長生きの秘訣を伺いました。

笑いあり、懐かしい昔話もありの1時間半でした。これで、第22回大会は無事に終了しました。

その後、本年4月には阪神支部の幹事会を行い、次回23回大会は令和6年6月2日(日)ホテルグランヴィア大阪の20階の宴会場で行うことを決めました。阪神間にお住いの同窓生皆様のご参加をお待ちしております。



関東支部

関東支部だより

事務局長
清水昭憲(高17)

篠山鳳鳴同窓会関東支部のつどい

日時：令和5年10月22日（日）

会場：東京都杉並区大宮八幡宮清涼殿

コロナ禍で控えてきました標記くつどいを、今年は4年ぶりに開催いたします。詳細は関東支部の役員会・学年幹事会で近々決定の予定ですが、市長による丹波篠山の近況や、学校長による母校の現状報告等々を通じて故郷への郷愁を高めるとともに、同窓生（先輩・同期・後輩）との懇親をより一層深めるくつどいにしたいと願っております。

【お願い】

首都圏（東京・神奈川・埼玉・千葉等）に在住同窓の皆さん、この機会に、未登録の方は篠山鳳鳴同窓会関東支部にメンバー登録をしてください。

登録後は自動的に鳳鳴同窓会関東支部の会員となります（年会費無料）。

住 所	〒		
氏 名			
回 数	回生	卒業年度	
Email			

下記事務局あてに、郵送又はメール送信してください。
篠山鳳鳴同窓会 関東支部
事務局長 清水昭憲（高17）
Mail：tshimi2011@yahoo.co.jp
TEL 090-7247-7010
〒277-0005 千葉県柏市柏559-18

【お知らせ】

千葉ロッテマリーンズ『黒豆ナイトスケジュール』が下記の内容で決定しました。

日時：令和5年8月1日（火）18時開始 場所：ZOZOマリンスタジアム（対戦相手 北海道日本ハムファイターズ）
※観戦を希望される方は、同窓会事務局で受付します。

今回の丹波市支部のコーナーは、丹波市春日地域で活動する黒井城跡地域活性化委員会（吉住孝信委員長、委員21人）を紹介します。塚本文則（高校25回）さんと筆者（同）がメンバーに加わっています。2020年のNHK大河ドラマ「麒麟がくる」の放映決定をきっかけに地域を盛り上げようと2018年に結成。国指定史跡黒井城跡をアピールするために様々なイベントを仕掛けるなど住民主体で取り組んでいます。

黒井城は、戦国時代に織田信長の丹波攻めで、明智光秀軍と戦った荻野（赤井）直正の居城です。地域住民が中心になって発足した委員会は、ひと月に一度城跡登り口駐車場や登山道を整備し、より快適な環境で多くの人に山登りを楽しんでほしいと力を合わせています。

昨年11月3日には、兵主（ひょうず）神社特設舞台上で上演された新作能「貂（てん）ノ皮」の企画に参画し、50人を超えるスタッフが能舞台を支えました。貂ノ皮は、黒井城にまつわる司馬遼太郎さんの歴史小説を題材に、能楽師の上田敦史さん（丹波市氷上町）が書き下ろしました。委員会のメンバーで作る黒井城甲冑隊が合戦の場面で登場、手作り甲冑を着用して切組稽古の成果



▲黒井城跡地域活性化委員会のメンバー（右から3人目が吉住委員長、左から2人目が筆者）（片岡健次郎氏提供）

を発揮しました。来年1月13日にも春日文化ホール（丹波市春日町黒井）で新作能の上演が計画されています。

吉住さんは、「エンゼルス大谷翔平選手ら大リーガーがホームランを打つと、兜を着てアピールするなど海外でも話題になっている。兜を身近に活用して楽しいアイデアを考えよう」と話し、海外旅行が趣味の塚本さんは「海外で能が上演される時はぜひ甲冑を披露したい」と意気込んでいました。

甲冑隊は3月21日に丹波篠山市が主催した「チャンバラ合戦丹波篠山の陣 集え！コスプレ武将たち」にも出演しました。この企画は篠山鳳鳴高校生の「コスプレで丹波篠山市を盛り上げよう」という提案が発端。私たちの同級生酒井隆明市長（高校25回）も甲冑姿で出迎えました。甲冑隊のメンバーは、丹波市、丹波篠山市、福知山市、亀岡市の4つの市の住民らで作る大丹波手づくり甲冑交流会（吉住孝信会長）にも加わり、それぞれの市のイベントに参加して交流を広げています。

活性化委員会では、関心のある方の入会を歓迎します。連絡先は塚本（090・8366・5901）臼井（090・1149・0511）まで。

丹波市支部

黒井城跡 地域活性化委員会

臼井 学（高25回）



▲手作り甲冑でチャンバラ合戦を盛り上げた塚本さん

篠山鳳鳴高校の校歌作曲者 酒井弘先生のこと

内山茂子(高女25回)

昭和の初め、高城山の麓の八上村から鳳鳴中学校への通学は、自転車が許されなくて徒歩でした。数名が一団となって学校に向かうその中に、いつも美しいメロディーで草笛を吹いている少年がいました。その草笛少年の名は、酒井弘(ひろむ)。長じて音楽家となり、芸大教授となって音楽界で活躍しました。「そらぁなあ！あの草笛は、ほんまに上手やったでえ！」老いて後も、親友たちはいつまでもなつかしがっていました。

鳳鳴中学校の寄宿舎には、将来の軍人を目ざして他の地方から来ている生徒たちがたくさんいて、まさに軍人養成予備校の一面がありました。その鳳鳴中学校から、開校以来初めて音楽を志す生徒が現れました。昭和7年3月、47回卒業の草笛少年でした。大阪音楽学校、さらに東京音楽学校と進み、声楽家となりました。

昭和15年、このところ中國大陸で活躍がめざましい航空隊を讃える「若鷲の歌」の発表会です。東京・日比谷公園の野外音楽堂のステージに、新進気鋭の声楽家となって活躍している、かつての草笛少年が立って歌っています。歌唱指導では聴衆も一団となって声を張り上げ、歌声は日比谷の森に響き渡りました。その頃、日本は中国との戦いのさ中で、北新町出身の小谷少佐が渡洋爆撃の隊長として華々

しい戦果をあげておられました。東京で学んでいた私と姉は、この催しに参加することができて感激で胸がいっぱいになりました。

鳳鳴高校の校歌は、校長・高橋誠先生の御尽力で、神戸出身の詩人・竹中郁の作詞、卒業生・酒井弘の作曲で一新しました。発表会の機会を逃してしまった事は残念ではありません。一度は母校のステージで、さわやかなテノールの歌声を響かせていただきたかったです。

校歌にまつわる思い出があります。

「はるかをのぞむ眼ざしは」で始まるのですが、その頃の多紀郡の人々は、ザ行とタ行の発音が反対で、「のぞむ」は「のどむ」「まなざし」は「まなだし」となってしまう生徒が多かったです。これをしっかり正すことが、校歌指導の第一歩でした。

当時、合唱部の部長さんだった桂文珍(本名・西田勤)さんも、この発音があやしくて、部室に呼んで特訓してあげたこともありました。歌い継がれて早くも五十年となりました。

まだ一つ忘れていたことがありました。

草笛通学の八上の生徒の一団は、学校の帰り道、京口橋の橋の下で、おまんじゅうを食べました。そして、学校からは一同停学という、うれしい処分を受けました。

なんと言うことでしょうか。

【郷友 第四六二号 令和3年5月創立・創刊130周年
記念号より抜粋】

20歳の同窓会

室谷汐南(高73回)

今回、私たち73回生は、「20歳のお祝い同窓会支援事業」のサポートをうけ、令和5年1月7日にユニティピアささやまにて同窓会を開催しました。

はたちの集いの前日で忙しい中にもかかわらず、約半分もの人が集まってくださいました。先生方も3名来てくださり一言ずつ挨拶をしていただき、残念ながら参加できなかった先生方にもメッセージとしてお言葉をいただきました。

まだまだコロナ禍が続いていましたので、限られた時間の中での同窓会の内容を決めるのが難しく、たくさんの方に案を聞かせていただいたり、サポートをしていただきました。おかげさまで当日行ったくじ引き大会がとても盛り上がりしました。くじが当たった人には、近況の話を聞いたり、高校時代の話をしてもらったりして、みんなの楽しいお話が聞けました。

同窓会の準備を手伝ってくれたみんなには本当に感謝し

ています。学年代表2人ではうまく進めず、一緒に企画してくれたり、各クラスの受付をしてくれたり、本当に助かりました。はたちの集いやコロナの関係で今回参加できなかった人たちもいますので、次回ではもっとたくさんの人に集まっていただけよう期待しています。

みんな参加してくれてありがとう！またぜひ集まりましょう～！



「篠山鳳鳴高校44回生卒業30年の集い+1」 を開催して

奥山慎平・荒木 彩(高44回)

タイトルの「+1」というのは、本来は卒業30年後に開催することとされている伝統の同窓会が、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、1年遅れで開催できたということを表しています。



開催までの道のりは決して楽なものではありませんでした。令和3年7月に実行委員会を立ち上げ準備を進めてきましたが、第5波と言われていた時期で、とても開催するという判断ができる状況ではありませんでした。

寄付金だけを募るという選択肢もありましたが、5月や盆の時期になったとしても、同窓会が開催できたときに寄付金を募るという選択をしました。3か月単位で襲ってくる新型コロナウイルスの脅威に怯えながら、1月の開催を決めてからは気がでない状況でした。

そのような中、新型コロナウイルス感染症の脅威が収まりつつある令和5年1月3日に、井谷先生、井上先生、吉川先生の3名の恩師をお迎えし、念願だった同窓会を開催することができました。しかし、病院関係者など職業柄や立場上、参加したくてもできなかった同窓生も多くいましたので、次回開催できたときには是非ご参加いただけたらと思います。いつかコロナ禍で開催が延びたこと、出席できなかったことも話し合える日が来ると願っています。

子どもの数が減り、クラス数も減る中、県内高等学校の再編等の話もありますが、若き日を過ごした母校に寄付をすることで、少しでも感謝の気持ちが伝えられたこと、また、同窓生の元気な姿を見ることができ、思い切って開催したことは今では良かったと思っています。

20歳のお祝い同窓会

今西朋香(高71回)

この度私たち71回生は、成人するにあたり「20歳のお祝い同窓会支援事業」のサポートを受け、2023年3月4日にユニトピアささやまにて2年越しの同窓会を開催しました。

本来は、2021年1月の成人式の前日に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、延期となりました。その後、2021年5月に再度開催を試みましたが、急激な感染拡大に伴い再延期となりました。「20歳のお祝い同窓会」はこのまま開催できずに、みんな就職してバラバラになるのかな…と諦めかけていましたが、「同窓会をしたい!」という卒業生からの多くの希望が寄せられ、念願の同窓会が実現しました。

当日は、実施2か月前に急遽決定した同窓会だったにもかかわらず、多くの同級生が参加してくれました。また、

お忙しい中学年団の先生方にもご参加いただき、貴重なお話を聞かせていただきました。楽しかった高校時代の思い出が数多く蘇り、幸せな時間となりました。企画・買い出し・司会進行・受付等の役割を、私たち幹事8名以外の同級生がサポートしてくれて、みんなの力で開催できた同窓会だったと思います。

71回生のみんな、集まってくれて本当にありがとう! またこうして集まれる日を楽しみに、日々頑張りましょう!!



待ちに待ったクラス会

吉田玲子(高15回)

2020年、東京オリンピックもコロナ禍のため延期になり、4年毎オリンピックの年に開催していた3年2組のクラス会も、いわずもがな延期となってしまいました。幹事さんの状況判断で、やっと今年4月6日ユニトピアささやまにて開催され、53名中21名の参加、7年ぶりの再会を果たしました。

担任だった塚本節雄先生も鬼籍に入られ、淋しい思いもありましたが、これまでのクラス会には毎回参加して下さいました。楽しい食事会、それぞれの近況報告、LINE交換、そして60年ぶりに再会した友に「誰?」

コロナ禍でカラオケはありませんでしたが、最後はみんなで輪になり「高校三年生」を合唱しました。

翌朝、窓の外はみぞれと強風、時々雪もまじって季節の逆戻りに「誰が雨男、雨女?」という思いも再会出来た喜びで消えていました。それぞれ車に分乗し市内、お濠周り、王地山と雨の中をめぐり、昼食後解散。諸事情で参加出来ない方も増えこうして無事クラス会に参加出来たことに感謝しながら新幹線で家路に着きました。幹事の皆さんありがとうございました。そして又、逢えるといいね!!



挑戦すれば花開く

オーランド補習校 校長 中野龍文(高32回)



37年間の教職を終えて、振り返ってみると出会いと挑戦の繰り返しでした。教職の出発は、大学3年生のとき、職業指導学のゼミで職業選択テストを受けた結果、教授から「君の天職は教師だ」と頭の片隅にもなかった職業を伝えられ、教職の道への挑戦が始まりました。

新採用で丹南中学校に赴任し、ソフトボール部の顧問となりました。丹後道彦先生の指導を仰ぎ、県大会優勝を目標に挑戦がはじまりました。平日の朝と放課後の練習はもろろんのこと、土日は練習試合、夏休みは遠征と合宿、盆も正月も返上で部活動に打ち込みました。その甲斐あって、第48回夏季総体で初めて県の優勝旗を丹有地区に持ち帰る

ことができました。篠山中時代での県新人大会二連覇をはじめ、丹南中時代を合わせると8度の県大会を制覇しました。また、オール兵庫を率いて全国8位の成績を残すことができました。

もう一つの挑戦は、海外にある日本人学校へ赴任することでした。元教育長の谷口哲先生の体験談を拝聴し、挑戦を決めました。最初の赴任は、インドネシアのスラバヤ日本人学校でした。メイドや運転手を雇う生活など、初めての事ばかりで毎日がとても新鮮でした。2回目の赴任は、アメリカのシアトル日本語補習校でした。現地校は英語で、補習校は日本語で学ぶバイリンガルな子供たちの姿に感銘を受けました。

そして現在は、文科省に委嘱され、アメリカのフロリダ州オーランド補習校に校長として赴任しています。

人生の節目で素晴らしい方々とお会いできた幸運と、挑戦を応援してくれた家族や支えて下さった方々に感謝と敬意を表し、さらに花を咲かすため、私の挑戦は続きます。

【卒業30年の集い】開催のご報告

古谷重樹・工藤智香子(高45回)

われわれ45回生は、旧友との再会、会員相互の親睦と生涯の交流を図ること、そして母校の発展に寄与することを目的として、母校と卒業生を結ぶ掛け橋役となり、諸先輩



方から引き継がれている伝統ある卒業30年の集いを去る令和5年1月2日、ユニトピアささやまにて開催しました。コロナ禍による開催の決断においても悩ましい時期ではありましたが、無事にそして成功裏に終了できたことは実行委員会メンバーのおチカラ添えによるものであります。

当日は、恩師2名をお迎えし、お仕事、ご家族、遠方からなど多様な調整にて参会をいただいた同窓生80名が集い、恩師のお言葉に姿勢を正し、卒後30年来の再会での喜びと母校への思いを込め校歌斉唱を行いました。また各クラスやクラス域を超えた新しい交友関係を構築したりと非常に有意義なひとときとなりました。

今は、それぞれの帰路につき、様々な生活環境へと戻ってしまいましたが、今回の再会を機に卒後40年、50年と45回生としてのつながりを深め合えることがこれからも続きますようにと願います。

最後に、今回の集いを開催するにあたり、携わっていただきました全ての方々に感謝の意を表し、同窓会並びに篠山鳳鳴高等学校の益々の発展を祈念しご報告といたします。

子ども達の宝物に ～ヘアドネーション～

藤田(本荘)律子(高44回)

令和5年1月3日(火)、ユニピアささやまに於いて「卒業30年の集い+1」が開催されました。コロナ禍でしたが中止ではなく「+1」とし、1年延期を経ての開催。久しぶりに会った同級生の皆さんが、元気で前向きに活躍している事がとても嬉しかったです。

“私に今できることは何だろう？”そう思いながら、私もコロナ禍を過ごしていました。

令和2年6月、神戸新聞の密着取材を受けヘアドネーションの為に3年半伸ばした髪をカットしました。がんの治療やケガで髪を失った子ども達に人毛のウィッグ(かつら)を寄付するヘアドネーション。ロングヘア1つ作るのに50cm以上の髪が100人分必要だそうです。

「誰かの宝物になるならうれしい」子ども達に想いを込めて55cmの髪を贈ることができました。

この取材をきっかけに髪を伸ばし続けた記者の方が令和

5年2月、40cmほど切って寄付したと新聞記事で知りました。この取り組みの認知度の高まり、嬉しい限りです。

ようやくコロナ禍前の日常に、ゆっくりではありますが戻りつつあります。これからも困難な時はあると思いますが、善意の輪が広がりますように。



3年半伸ばし続けた髪



寄付する長さを決め髪をいくつかの束にする



「髪もわが子のように育てた」とほほ笑む藤田さん

同窓生からのお便り

(令和4年7月～令和5年5月分) 順不同 敬称略

●当時、通学に神姫バス、国鉄、国鉄バスを乗り継いで約1時間。今ならバイクで20分ぐらいでしょう。随分時間が経ちましたが、お陰様で元気です。冬は丹波で害獣駆除やっています。

高9 森田公司(神戸市)

●鳳中卒が年々減少していくのはやむを得ないと思うが、私もやがて96歳。脚腰は劣化したが、趣味のホームページは月2、3回発行。980回を越え今や生き甲斐となっている。県下最古を誇る母校がよもや統合されることはないと思うが、少子化、地域の人口減もあって、地域に根ざした魅力ある高校になるよう樋口校長始め教職員諸君の活動に期待したい。同窓会としての協力も充分行われるようお願いしたい。

鳳中59 竹内静夫(神戸市)

●商業科卒の1期生です。87才になりましたが元気です。高5 柿原澄男(奈良市)

●同窓会総会の開催が願わしいです。但し、ありきたりのあいさつは止めて下さい。それより、現役の生徒たちのコラッス、弁論が聞きたい。生のお知らせ下さい。

高2 若狭 晃(堺市)

●鳳鳴を出て60余年、来々参寿を迎えます。お陰様で健康に恵まれ、まだ現役で働いております。早くコロナが収束して関東在住の同級生と会合を持ちたく思っています。

高13 古田行輝(葛飾区)

●昭和20年3月に神戸の大空襲で焼け出され、篠山に移り住んで鳳鳴中学に入学してからの篠山生活でした。鳳鳴中学の旧講堂に先輩たちの写真が掲げてあり、驚いたのです。それから75年も経ちましたが、誇りは忘れません。

高3 畑 光(港区)

●生きることは①長姉。生きることは希望 ②次姉。生きることは忍耐と努力 ③私。生きることは義務と責任 生きることは希望を持って努

力、忍耐で義務と責任を果たす。みなさまは？

高6 旭 重子(東大阪市)

●お疲れ様です。いつもお世話頂きありがとうございます。これからもよろしくお願い致します。

高23 大杉壽男(大阪市)

●コロナがいつ迄も治まらないまま同級会も延期され、その間死亡通知を受けた級友も何人かあり89才になりました。戦後、学校制度の変更にふりまわされた学年ですが、クラブ活動も盛んで楽しい高校時代でした。

高4 山内照子(奈良市)

●コロナの影響で2年振りの高13卓球部同期会を4月4日(月)神戸市立森林植物園で行い大自然を満喫し、気持ちは高校生に戻って歓談しました。

高13 明山嘉佑(西宮市)

●遠方で寄宿舍に入りお世話になりました。同室の方は勿論皆さん家族様の暮らしで母が2年の夏に亡くなり寂しい中、皆さんに助けて頂きありがたかった思いが今も忘れられません。おかげで思わぬ年迄生かして頂き心より感謝あるのみです。最後に母校の更なる発展を祈念して居ります。

高女31 松本久子(加東市)

●鳳鳴高校を出港してから50年ほど経ちました。半世紀とはとても長い時間とと思っていましたが短かったです。これからの50年間、母校が若者の成長の場であり母港であり続けることを祈念しています。

高27 小西章雄(三田市)

●喜寿の祝いに仲間から「ぼけない五ヶ条」を示されました。①仲間が居て気持ちの若い人 ②人の世話をし感謝の出来る人 ③物をよく読み、よく書く人 ④よく笑い感動を忘れない人 ⑤趣味の楽しみを持ち旅の好きな人…信じてみる値打ちありと思いました。

高16 高家正和(宝塚市)

●赤い夕日が校舎をそめて～高校三年生～が同級会の定番で青春がよみがえります。後期高

齢者になってからは誤飲しないよう、のどの訓練のため、しらかば青空～とカラオケしています。又、心身の健康のため「平和。友好。健康」の祈願を唱えながら動く禅として、太極拳を舞っています。

高16 太野垣功(新潟市)

●1年に1度、同窓会報に接し、なつかしい仲間の名前をみつけ「今頃どうしてるのかな、1度たずねてみようか？」と思っています。

高18 大西利美(丹波篠山市)

●いつもありがとうございます！現役生の様子が知れてパワーをもらえます。

高51 清水まり子(森田)(大阪市)

●中西新会長の「同窓会は心のふるさと」胸が熱くなりました。ご尊父から二代続いての役は大職ではないでしょうか。陰ながら応援しています。

高28 原田豊彦(丹波篠山市)

●サヨナラ同期会(名称=五篠会)から4年が経過。…私たち、遂に「米寿」に達しました。「生者必滅。会者定離は浮世のならひに候」という平家物語の一節を実感しております。

高5 山口博美(大田区)

●長いようで短い人生。私も94才の歳になり元気に暮らしています。百歳で亡くなった母を手本にコーラス、俳句、琴と若い仲間とたのしんで居ります。「朝散歩花野の道を日々遡へ、手のしわの母に似てきし草を引く 和代」

高女31 勝村和代(名張市)

●篠山鳳鳴高校のますますの発展を楽しみにしています。

高54 宮口淳史(三田市)

●NPO法人で行政・企業の支援をしています。

高18 佐野由明(守口市)

●2022年6月の阪神支部大会を10月2日に延期の上、開催することが決まりました。コロナ禍の中での開催ですが、感染者数が減って来ることを信じて行います。このような状況の中です、開催することによって皆さんに元気と勇気

兵庫ささやま
ホロンピアホテル

兵庫県丹波篠山市中野76-4 FAX (079) 594-2612

☎(079) 594-2611(代) http://www.holonpia.com



あなたとまちとフェイスtoフェイス



中兵庫信用金庫

理事長 足立 厚 郎

〒669-3693 兵庫県丹波市氷上町成松 226-1

〒669-1321 兵庫県三田市けやき台 1-4-3

代表 TEL(079) 569-7150

が伝わればいいなあと思ってます。

高19 永井哲郎(高槻市)
●百五十周年記念の催し物の内容を教えて下さい。

高19 北山敏郎(神戸市)
●篠山鳳鳴高校を卒業して早いもので47年、仙台に住み始めて30年になります。単身赴任で色々な土地を回りましたが、どこも「住めば都」と感じます。しかし、私にとっての故郷は丹波篠山です。帰郷できるのは1年程度ですが、最近ではコロナで帰れておりません。人生100年時代、まだまだ残りの人生を元気に楽しく生きたいものです。

高28 梶谷卓美(仙台市)
●体調管理が難しい年になりましたがぼちぼちやっております。

高25 山口健彦(久世郡)
●同窓会の近況を見るたび同級生はどうしているか考えてしまう。卒業して57年。皆んな元気でタノム。(陸上部OB)高17 井尻 努(明石市)

●ウィルスで皆様も大変だと思いますが、体調に気を付けて戴きまして乗り越えて下さると思っております。中止は仕方のない事だと思ひます。

高36 篠倉元美(北村)(神戸市)
●小、中、高と「校長先生」は全て神様か、その眷族だと思ってました。今回、同級生が校長先生となりましたので、小生ももうそんな「歳」かと感慨一入(ひとしお)です。

高35 本山尚己(丹波篠山市)
●介護の世界で仕事をして5年。ようやく介護福祉士の資格がとれました。5年後のケアマネジャーを目標にがんばります。週3日のデイサービスの仕事で同年代の方と楽しく仕事しています。長く続いた同窓会、再会を待ちたい。

高9 竹川宗宏(足利市)
●前回にも書きましたが、集まる事は元気の確認です。もう私達の年齢になると認知の予備軍です。私達の集いも月一回にしました。日帰り旅行を考えていたのですが、コロナの為に見合わせました。無理をせず年相応の事をして過ごしたいと思っております。

高9 畑美智子(丹波篠山市)
●昭和20年の大阪大空襲被災後、疎開、鳳鳴中学校転入学、篠山鳳鳴高校卒業とお世話になりました。卒業後、阪神間に転居、苦楽の中に思い出すのは、篠山のほろ苦い青春時代です。特に卒業年の体育祭の河童ダンスは練習から本番迄一生の思い出です。最後に御会の隆盛、学校の発展を祈ります。

高2 柴田 博(伊丹市)
●元気がない母校の行く末が気がかりです。学業(大学入試)や各種スポーツ、文化芸術活動での全国大会出場など存在意義を示しましょう。歴史や伝統に安住してはいけません。歴史や伝統は新たに創り出していくことにこそ意義があるのです。教職員、在校生の奮起を強く求めます。

高19 倉 義己(神戸市)
●長谷川義行は89才なりに元気にして居ります。いつも篠山鳳鳴を誇りに話して居りました。デカンショ節を全生徒で踊ったこと、なつかし気に話して居ました。現在、近所のショートロングステーションです。

高4 長谷川義行(代筆妻)(宝塚市)
●いつか秋を感じる様になってまいりました。鳳鳴誌をお届けいただき有難うございました。皆様方のご健康と御活躍をお祈り申し上げます。唯々、療養中で失礼いたします。かしこ

高10 恩田君代(速水)(さいたま市)
●第八波コロナ感染が拡大しています。篠山で

の同窓会の延期も続くでしょう。多紀連山のクリン草を守る会に属しています 現地にいけないのが悔しいです。三宅裕司のテレビ放送で、篠山城、王地山、商家の街並、大國寺、いわやなど懐かしく見ました。インスタグラムを始めました。覗いて見てネ!

高9 小川渥美(倉敷市)
●大東亜戦争開戦時入学、終戦時卒業、2年生時学徒隊として、伊丹日東紡にて工場勤務。機銃掃射を受けつつ校歌を斉唱し乍ら全員揃って親元へ帰れる様祈りつつ、生死を共にした私達は命の尊さ、平和への願い、友情の絆、殊の外強いクラスメートです。

高女33 藤本千皓(丹波篠山市)
●昨年春に、久しぶりに篠山へ参りました。落ち着いた「たすまい」を大変なつかり思いつつ、お城まわりなど散策しました。雨天でしたので、あちこち歩き回れなかったのが残念でしたが、昔の思い出を感じさせる小学校の校舎などとても嬉しく校舎内も見せて頂きました。大変親切に対応してくださいました。

高7 小泉明子(調布市)
●活動協力金納入者の名前を見て、「ああ、あの方も協力されているんだ」と判る方の顔を思い出しながらかきまわっています。母校との接点がこの会報くらいで申し訳なく思いますが、役員の皆様いつもありがとうございます。

高26 井口継綱(大和市)

恩師との思い出

●一年生の担任が数学を教えておられた大学卒業したての塚本先生であった。数学が好きであったが、授業で先生の間違いを指摘し、益々自信が出来た。私の同級生の御主人が先生の弟で、在京でしたが奥様を亡くされた時はお会いして知ったが、先生には卒業以来お会い出来ずのままである。

高7 畑中正治(茅ヶ崎市)
●私が在学した時は「特進クラス」の様なものがあり、私達の担任は8才上の26才の赤井一三先生でした。2年間特進クラスで教えてもらったおかげでクラスの3分の2は国公立へ行く事が出来ました。赤井先生は卒業式の日に教室で涙で送辞されたのを昨日のように思い出します。

高2 篠山鳳鳴。匿名
●篠山高等学校第二代校長、一色智二先生の卒業式でのお言葉「一期一会」を大切に。その時から67年、85歳になりました。今もしっかりと頭の中に生きています。これからも「人」との出会いを大切に健康で明るく楽しく過ごしていきます。

高7 畑 穰(丹波篠山市)
●S42卒ですが、卒業時に書道の先生から贈られた歌が辛い時のはげみになりました。うきことなのにおの上に積もれかし限りある身の力ためさんー

高19 高見 誠(丹波篠山市)
●担任の西脇徹先生の思い出である。私は高1のとき父親を亡くしたが祖父、母親など家族の支援で希望大学を受験し合格した。卒業後何年か経て、篠山で西脇先生を囲む夕食会の際、先生に「私は篠山を離れてしまえば祖父に恩返しができている」と言うと、先生は「君が大学に合格したことが最大の恩返しだ。電報を持って学校にたどんで来られたときの嬉しそうな顔は素晴らしい」と言っていたのだ。高8 辻 治郎(宝塚市)

●10回卒業商業科。倉垣先生、多波見先生には感謝のみです。自分の持てる力を思う存分発揮できる会社を紹介して下さいました。大阪府天王中学校卒業。天王中学校は全校で15人。大阪

府・兵庫県両知事の許可を受け越境入学させて頂きました。巨大な篠山鳳鳴高校の8組だけで48人。驚きの人数です。満州生まれの私は両親の顔を知りません。3才で祖父が祖国日本へ連れて帰ってくれ生をつないでいます。入社した会社が今日を含めて最高の会社であったと思います。財務人事畑で45年。最高の仕事をさせてもらいました。一度18才で就職される皆様に一杯ぶつかる話をしたいもの。

高10 東尾 薫(寝屋川市)
●在学時代同様、テニスに明け暮れています。テニス同様、自分が特技とできた「英語」で「全国通訳案内士」の資格を取得し、インバウンド顧客対応をしてきましたが、コロナ禍で頓挫しています。松原先生には大変お世話になり、仲人までして頂きました。一方で塚本先生、川端先生にはご迷惑ばかりおかけし申し訳なかったです。

高10 二階昌一(藤沢市)
●今から思えば、丹波篠山市の一番山奥に生まれた私は毎日自転車通学で通った。卒業式の前日、先生に呼び出され「明日の卒業式に一日も休まず通ったので表彰することに職員会議で決まった。」と云われた。私は即座に「生徒が休まず通うのは当たり前と違いますか。断ります。」と云った。その後、その先生が校長先生になられ「君のあの言葉を今も生徒に伝えているよ。」と云われたことを思い出します。

中60 奥田 齊(丹波篠山市)
●恩師第8代校長 堀毛哲男先生です。私はバレーボールのキャプテンでした。練習の始めと終わり1人で準備と片づけを毎日していました。その姿を毎日コートの生垣から先生が2年間見ておられ、ある日、職員室まで来るようにと云われ、その折に「お前のような生徒今まで見たことない。感動した。」と云われ、成績も上位だから是非就職の手助けしたいと云って下さって、日本レイヨン(株)宇治工場へ受験の推薦をして下さいました。→(現ユニチカ(株))それから私の人生開けました。この話の続きは次回へ続けます。

高9 西本治美(大阪市)
●河内多喜夫先生(1年生の担任)1966年、2年に進級する際、先生の準備された英語のプリントを旧校舎の図書館で解いたことを思い出します。後で聞くと何人かにプリント学習をされていたようだ。おかげで無事2年に進級し、今の私がいる。私が教師になった時に、「教師はかくあるべき」と、その方法を学んだ。鳳鳴高校に、校長先生として赴任された時にも、お世話になった。鬼籍に入られたが、今も感謝の気持ちは忘れません。

高20 久下隆史(丹波篠山市)
●高校2年と3年で2年間担任だった矢野先生はどうされてるのか...気になっております。若気の至りでしょか、クラスのほとんどが、先生に対して意地悪な行動をしていたと思います。(反省してます)以前、同窓会(クラス会)をした時、先生にも参加して頂こうとお誘いしたけど...返信はなかったそうです。あのころの私達を許してほしいと言えないままです(*_*; 連絡先を知る事は不可能でしょうか?

高28 今北孝子(大阪市)
●恩師はなつかしいです。国語の高下駄愛用パンカラ 村上治水先生・小島先生(キリンさん)・化学の菊地先生(猫さん)・生物の矢野先生(?)・書道の岡本寛浄先生(坊さん)・歴史の高橋先生(坊さん)・英語の豊福先生、小山先生、幾何の福井先生

高4 杉本信晃(神戸市)

ちよつと
待つて!
捨てないで!!

資源ごみ
買い取りなら
コミナミに
おまかせ
ください!!



各種鋼材販売 株式会社 コミナミ 丹波篠山市南新町218
鉄筋工事 小南 嵐・小南 稔彦 ●定休日/土・日・祝日
廃棄物収集運搬

TEL(079)552-5373 FAX (079) 552-1920
受付時間/8:00~17:00

プロフェッショナルな撮影で 地域の皆様それぞれの
歴史を語り継ぐお手伝いをさせていただきます



写真の創虹社 創虹社 検索
http://www.soukousha.net
お問い合わせ 079-590-2211 兵庫県丹波篠山市吹新 1-1



学校活動

高78回生

● 遠足で神鍋高原へ ●

令和5年4月21日(金) 於:神鍋高原

朝は天気良かったのですが、到着すると寒く、霧がかかってハイキングを行うことができませんでした。そのため、グラウンドでクラス対抗大縄大会となりました。寒さをふっとばすほど、元気に大声を出してみんなでジャンプ！飯盒炊爨では、どの班も上手くカレーを作ることができ美味しくいただきました。この調子、みんなで三年間頑張りよう！



高77回生

● 春の遠足 ●

令和5年4月21日(金) 於:京都 清水坂・祇園周辺



京都市清水坂をスタート・ゴールに、グループに分かれて散策をしました。各グループで立てた計画通り、清水寺など名所を巡りながらグルメも楽しみました。中には地下鉄やバスを利用し遠くまで足を延ばしたグループもあり、充分に春の京都を楽しみました。

高76回生

● 春の遠足 ●

令和5年4月21日(金) 於:京都・東山周辺

グループ毎に計画を立て、八坂神社や清水寺など、京都を代表する観光地を巡りました。汗ばむぐらいの好天で、多くの観光客で賑わっていました。思い思いの場所で美味しいものを食べ、お土産もたくさん買い、高校生活最後の遠足を満喫しました。



◆部活動の軌跡 令和4年度の活躍

鳳凰賞

個人の部

- 令和4年度「税に関する高校生の作文」国税庁長官賞 齋藤若颯
- 第72回「社会を明るくする運動」作文・高校生等エッセイコンテスト 神戸保護観察所長賞 田土真菜
- 社会共創コンテスト2022（愛媛大学社会共創学部）地域課題部門 奨励賞 一嶋瑚子 糸川恭

団体の部

- 第46回兵庫県高等学校総合文化祭放送文化部門決勝ラジオ番組小部門ドラマ銀賞 放送部

ゆずりは賞

- 令和4年度「税に関する高校生の作文」国税庁長官賞 齋藤若颯
- 観光甲子園2021日本遺産部門グランプリ インターアクト部

陸上競技部

- 令和4年度 丹有総合体育大会
3000m S.C. 第1位 中野晃輝
- 兵庫県高校駅伝競走大会丹有地区予選会
第2区区间賞 吉田有也
- 丹有地区高等学校陸上競技丹有ジュニア大会
男子1500m 第1位 4'07"17 藤木康綺

硬式野球部

- 令和4年度 秋季兵庫県高等学校野球大会 但丹地区代表

かるた部

- 第17回 全国競技かるた兵庫大会
C2級・優勝 野垣梓美
- 第17回 全国競技かるた兵庫大会
C3級・準優勝 中井美央
- 第46回兵庫県高等学校総合文化祭
小倉百人一首かるた部門大会 C級3位 竹見桃香

その他

- 令和4年度「税に関する高校生の作文」
租税教育推進協議会賞 田土真菜
- 第72回「社会を明るくする運動」
高校生エッセイコンテスト 佳作 齋藤若颯

◆令和4年度卒業生進路状況（令和5年3月卒業）

進 路 種 別			男	女	計	合計
進 学 男 68(71) 女 60(76) 計 128(144)	4 年制大学	国 立	4	1	5	87(100)
		公 立	8	6	14	
		私 立	47	21	68	
	短期大学	公 立	0	0	0	8(8)
		私 立	0	8	8	
	文部省所管外学校		0	0	0	0(0)
	専修・各種学校	看護・医療	8	12	20	31(20)
一般		2	9	11		
就 職	公務員		2	0	2	4(2)
	民 間		1	1	2	
進学準備	進 学		5	3	8	8(3)
	公務員		0	0	0	
海外留学（準備）			2	1	3	3(0)
その他			0	0	0	0(1)
合 計			79 (73)	62 (61)	141 (134)	141 (134)

（ ）内は昨年度

主な現役生合格大学

（四年制・合格者数）

【国立大学】

神戸大(1) 大阪教育大(2) 千葉大(1) 信州大(1)
島根大(1) 国立大 計6名
大阪公立大(4) 兵庫県立大(2) 福知山公立大(1)
東京都立大(1) 群馬健康科学大(1)
群馬県立女子大(1) 岐阜薬科大(1) 福井県立大(1)
島根県立大(1) 高知県立大(1) 高知工科大(1)
長崎県立大(1) 芸術文化観光専門職大(1)
公立大 計17名

【私立大学】

関西大(9) 関西学院大(19) 同志社大(4) 立命館大(6)
京都産業大(9) 近畿大(14) 甲南大(4) 龍谷大(12)
摂南大(14) 追手門学院大(17) 桃山学院大(5)
神戸学院大(15) 早稲田大(1) 大和(2)
武庫川女子大(6) 神戸女学院大(2) など
私立四年制大 計208名



パナソニックグループ労働組合連合会 休暇村

ユニトピアささやま

- 宿泊
- グルメ
- 研修
- アウトドアスポーツ
- キャンプ&BBQ
- 温泉

〒669-2356

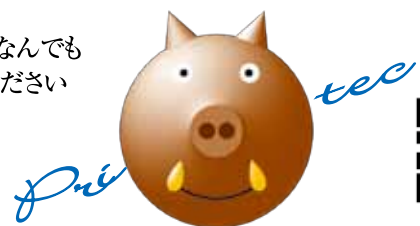
兵庫県丹波篠山市矢代231-1

TEL 079-552-5222

<https://unitopia-sasayama.pgu.or.jp>

印刷

のことならなんでも
おまかせください



総合印刷 株式会社プリテック

TEL 079-552-0261

FAX 079-552-2484

〒669-2333 兵庫県丹波篠山市南新町67-1

<https://www.priteck.net> info@priteck.net

堀内剛二奨学金を給付

野垣梓美さん、稲井達彦君



私はこの春から大阪公立大学経済学部に進学します。

将来は、私は「暮らしやすく、発展し続ける社会」を創るための仕事に就きたいと考えています。そのために、大学で経済学の知識を身につけ様々な観点から現代社会が抱える問題の解決に取り組んでいきたいです。中でも、少子高齢化が顕著な地域に対する有効な政策について研究したいと考えています。

また、大学在学中に英語力のステップアップもしていきたいと考えています。近年、グローバル化が進んだことによって異文化交流が容易にできるようになりました。英語力を高めることは、そのような機会を生かして異なる考え方や価値観を学ぶことにつながります。

最後に、大学生活で学んでいくことを将来に役立つものにするために努力を惜しまず今後も精進していきます。

野垣梓美

堀内奨学金を頂くにあたり、私の決意表明をします。私は高校3年間 COVID-19 新型コロナウイルスによってマスク着用、行動制限のもと活動してきました。そして、鳳鳴高校を卒業した3月に公的にマスク規制もなくなり、生活形態が2019年以前のものに戻る流れになってきました。そこで私の大学生活の1つの指標に高校生活でできなかったことをすることがあります。

私は新型コロナウイルスによって機会が少なくなっていたボランティアなどの社会福祉的活動に中学3年生以来の参加をしてみたいと思います。成人となった今は、中学生の時とは福祉活動の自分の役割も変わってくるはずですので、数年ぶりに参加しようと思います。また、成人年齢引き下げにより、高校在学時に成人となった私は有権者となりました。国民として持っている1票を投じる力を当たり前に行使できる人間になります。

私は大学に進学し学問を究めるとともに、高校では経験していないアルバイトなどの労働を行います。労働の現場では少しの変化や細かいところに目が届く人間になります。また、全く見知らぬ土地で今まで交流してきた人たちとは違った人々との交流で新しい感性に触れ、人としての深みを身に付けていきたいと思っています。就職することが次の大きな目標になっていきますが、親や兄弟、親族に迷惑をかけないような安定した職を目指し、大学でも高校同様、もしくは更に飛躍していきたいと思っています。この度は奨学生に選んで頂きありがとうございました。

稲井達彦

藤木千皓奨学金を給付

倉垣遼佳さん



私は高校生活のなかで、ボランティア活動をはじめとした様々な活動に参加し、多くのことを学びました。中でも、年齢や性別、価値観の違う人々との交流を通じて、コミュニケーションと相手の視点に立って考えることの大切さを知ることができました。

私は将来、社会福祉士として1人でも多くの人が笑顔で幸せに暮らせるような地域・社会をつくりたいと考えています。なので、大学では社会福祉に関する専門的知識だけでなく、コミュニケーション力についても学び、多様な地域や社会の問題に対応していけるような人材になりたいです。加えて、全ての土台となり得る基礎科目にもしっかりと取り組み、将来社会福祉士となった時に生かせるような知識・経験を身につけたいと思います。

今までお世話になった家族や先生、地域の方々への感謝を忘れず、これからもより一層精進していきます。

倉垣遼佳

この振込用紙は、丹波篠山市への「ふるさと応援寄付金」用です。

同窓会活動協力金の振込用紙は、別紙で同封していますので、お間違いのないようご注意ください。

(ご注意)

- ・ この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
- ・ この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。
- ・ この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
- ・ ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおところ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
- ・ この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

この場所には、何も記載しないでください。

行ってみたい城下町「全国2位」に！ 丹波篠山市、応援よろしくお願いします！！

篠山鳳鳴高校同窓会の皆さんには、いつもふるさとのことを気にかけていただき、ありがとうございます。おかげさまで、丹波篠山市は全国からも注目されるまちになってきました。

連休前のテレビで「全国の行ってみたい城下町」のなんと全国2位に選ばれ放映されたり、NHKクローズアップ現代では、歴史的建造物を活性化に繋げているよい例として福住地区が紹介されました。

5月には伝統的建造物群保存地区（歴史的な建造物をいいます。）の全国大会が丹波篠山市で開かれ、「丹波篠山はまちも人も素晴らしい」とお褒めいただきました。

観光客は目に見えて増えていますし、ここに住みたいという移住者、移住希望者も増えています。このよい流れを生かし、若い人が定着し、ふるさとが未来に繋がるよう取り組みを進めていきます。

そこで、同窓会の皆さんへのお願いです。

どうかいろんな形で、ふるさとを担ったり、支えたりしていただくことを期待しています。

ふるさと納税はそのひとつです。農業、美しいまちなみ、自然や文化がより輝くよう、大切にに使わせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。

同窓生の皆さんの益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

丹波篠山市長 酒井 隆明



こちらの郵便振り込み用紙をご利用ください

07	大阪	払込取扱票		公	払込料金 加入者負担	
口座記号番号				金額	千	百
0	1	1	3	0	6	9
加入者名				備考	金	額
丹波篠山市会計管理者						
下記のとおり丹波篠山ふるさと基金に寄付したいので申し込みます。				使途（1から5のどれか一つに○をしてください）		
フリガナ				1. 豊かな自然環境の保全に関する事業		
氏名（団体名）				2. 農の都としての農業振興に関する事業		
(〒 -)				3. 伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業		
住所				4. 日本遺産のまちの魅力発信に関する事業		
電話番号 ()				5. その他（市長が使い道を決定します）		
氏名、住所（市町村名まで）、寄付額及び使途内訳の情報について、事業報告書などで公開してもよろしいですか？				はい いいえ		
丹波篠山ふるさと応援団に登録いただけますか？				はい いいえ		
鳳鳴				日		
				附		
				印		

裏面の注意事項をお読みください。（ゆうちょ銀行）（承認番号大第46887号）
これより下部には何も記入しないでください。

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	0	1	1	3	0	6	払込料金 加入者負担
加入者名	丹波篠山市会計管理者						
金額	千	百	十	万	千	百	円
ご依頼人	おとところ (〒 -)						
	おなまえ						
	様						
	[この払込は、ふるさと納税です。]						
備考	日 附 印						

この受領証は、大切に保管してください。

丹波篠山 ふるさと応援寄付金について



■令和4年度のご報告

多くのご協力と応援をありがとうございました。

昨年度の寄付金額合計 **252,496,946円**、寄付件数 **11,159件**

令和4年度、寄付は下記の事業に活用しました。(抜粋)

1. 豊かな自然環境の保全に関する事業

ふるさとの川再生事業(事業費: 4,654,868円)

2. 農の都としての農業振興に関する事業

環境創造型農業推進事業(事業費: 5,044,697円)

3. 伝統文化の保全や教育環境の充実等、文化・教育に関する事業

遊具設置 (事業費: 11,969,735円)



4. 日本遺産のまちの魅力発信に関する事業

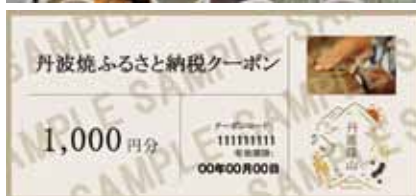
日本遺産創造都市推進事業(事業費: 3,704,000円)



● その他、丹波篠山市の発展のために使わせていただいております。

■令和5年度の取り組み

これまでの丹波篠山の魅力が詰まった農産品に加え、新たに工芸品や加工品などを追加し、返礼品のラインナップもますます充実させていきます。現地で使える丹波焼クーポンやPayPay商品券など丹波篠山に実際にお越しいただき魅力を感じていただけるような返礼品を追加しています。さらに、寄付金の使い道をより具体的にプロジェクト化し、課題解決に活用する**クラウドファンディング**型の寄付も募集しています。



丹波焼クーポン券



PayPay商品券

丹波篠山市のふるさと納税の仕方

- 窓口：直接窓口（丹波篠山市役所 ブランド戦略課）で寄付ができます。
- 郵便振替：専用の払込用紙（本会報P14）で、最寄りのゆうちょ銀行から振込みをしてください。入金確認後、返礼品申し込みはがきとカタログを送付します。
- インターネット：ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」「ふるなび」「さとふる」にて、クレジットカードでの寄付ができます。



ふるさとチョイス
QRコード



楽天ふるさと納税
QRコード



ふるなび
QRコード



さとふる
QRコード

■問い合わせ先 **丹波篠山市役所 企画総務部 ブランド戦略課**

TEL:079-552-0275/FAX:079-552-5665 メール:brand_div@city.sasayama.hyogo.jp

■日 時：令和5年10月29日(日)
受付 午前11:00

■会 費：7,000円

■会 場：ユニトピアささやま
丹波篠山市矢代231-1
TEL(079)552-5222

今年は高38回生(昭和61年卒業生)が担当して、楽しいイベントを開催します。

まずは申し込みを(9月30日締切)

同封のハガキで参加のお申し込みをお願いいたします。
お申し込みいただいた同窓会員様には、後日詳しいご案内を差し上げます。

お知らせ 高46回生(平成6年卒)の皆様へ 「卒後30年の集い」 開催のご案内

■と き：令和6年1月2日(火)
■ところ：ユニトピアささやま
代表幹事 中川昌之 小立理恵

ご案内 20歳のお祝い同窓会支援 (高74回のみなさん) 成人式の次は、学年同窓会!

同窓会が支援金3万円を支給し、成人後初の学年同窓会の開催を応援します。

同級生への連絡や出欠の確認、当日の運営などは、学年理事を中心に自分達でしていただく必要があります。

また開催後には、当日の記事を同窓会報に掲載しますので、写真を添えて原稿を提出して下さい。

編集後記

今年5月に新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが「5類」になり、令和元年以来4年振りに「鳳鳴のつどい」を開催する事になりました!!

昨年10月には阪神支部が対面での総会を開催していただきました。各支部の総会も目白押しとなっております。是非ご参加お願い致します。皆さんにお会い出来るのを楽しみにしております。 井関由里子(高32回)

同窓会事務局からのお知らせ

活動協力金 ご協賛のお願い

お一人
2,000円

会員の皆様と同窓会を結ぶ会報は、この活動協力金によって発行されています。同窓会活動協力金のご協賛について、一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

同窓会活動協力金はお一人2,000円とし、同封振込用紙にて郵便局又は、コンビニ、スマートフォンアプリよりお願いいたします。なお、振込手数料は不要です。郵便局から現金でお振込みいただく場合、手数料110円が必要となります。

令和4年度協力金(令和5年5月31日現在)

1,320件 2,584,571円(振込手数料除)

なお、ご協賛いただいた皆様のお名前を、次回発行の本紙に掲載する予定です。

会員の皆様からの多額の協力金に深く感謝申し上げます。引き続き今年度もご協力よろしくお願い申し上げます。

原稿募集

同封の「きずなはがき」、郵送、ファックス、ホームページ(<https://homei-doso.org>)などで、原稿をお寄せください。お名前、住所、卒業回生、連絡先をお忘れなくお願いします。

なお、紙面の都合上、掲載できない場合もございます。

同窓会名簿の取り扱いについて

皆様の大切な個人情報であることをご留意いただき、複写あるいは譲渡、売買などの行為は禁止とさせていただきます。

同窓会事務局は下記の曜日・時間事務員が在室しています

月・水・金 AM10:00~12:00
PM 1:00~ 3:00

TEL/FAX 079-554-2533
〒669-2318 丹波篠山市大熊369
篠山鳳鳴同窓会事務局

みな様からのお便りをお待ちしています! 留守の場合は留守番電話に伝言をお願いします。



海魚料理



- 昼膳各種 ●会席料理
- ふぐ料理 ●ぼたん鍋
- 冠婚葬祭・お座敷・仕出し料理

〒669-2725

兵庫県丹波篠山市川北新田52

舞鶴若狭道 丹南篠山口ICより車で5分
JR福知山線 篠山口駅より車で7分

TEL 079-593-1341 URL <http://hougyoen.com>

